

# 「飯田市平和祈念館を考える会」 ニュース

No. 1



2023. 2. 20 代表；唐沢慶治 連絡先；0265-26-9204

## 結成集会に137名参加

### 8枚の幻のパネル原稿、会場後ろに展示

1月29日（日）13時30分より、県文化センター3階学習展示室で、「平和祈念館を考える会」結成集会が行われ、予想を大きく上回る参加者がありました（写真①）。

最初に代表あいさつ、経過報告が行われました。

代表の唐沢慶治さん（79）は、「証言や解説がなければ、遺品の寄贈者の切なる願いは全く伝わらない。市の教育委員会もより良い祈念館にしていきたい思いは同じだ。話し合いを重ねれば解決の方向は見えてくると思う」と訴えました。



① 会場いっぱいの参加者

続いて、元731部隊少年隊員だった清水英男さん（92）が特別報告「731部隊と平和祈念館」を行い、体験を交えて語ってくれました（写真②）。そのなかで、「子どもたちには残酷なことを知らせたくない…と加害の事実を知らせないのは本当に残念だ」との言葉が、特に印象に残りました。



② 体験や想いを語る清水さん

その後、県外からの参加者（写真③）やメッセージの紹介、質疑・意見交換、趣旨文の提案と確認が行われました。最後に、平和祈念館設立に最初から力を尽くしてこられた久保田昇さんによる力強い閉会のあいさつで終了となりました。この集会で、新しく入会された方も多く、会員は70人ほどになり、5万円を超えるカンパも集まりました。

集会に寄せられた感想や意見もたくさんありました。そのいくつかを紹介します。

- ・未来の子どもたちのために、ぜひ731部隊の説明を展示してほしい。
- ・予想以上の参加者で勇気づけられた。市民の関心は思った以上に高い。
- ・集会での声をどのように力にしていけるかが今後の課題。
- ・清水さんのお話、あまり時間がなかったので改めてお聞きしたい。
- ・市や市教委とどう向き合うか。「より良い祈念館に」という共通点を大事にしたい。

- ・十分な時間がなく、参加者が発言する時間が少なかった。また、遠方から駆けつけてくれた方々にも話してもらう時間がほとんどなかった（五井さんを除いて）。
- ・マスコミも関心を持っている。マスコミの対応（活用）を考えたい。特にテレビ。
- ・若い人に学んでもらうためには、若い人といっしょに運動をすすめることが大事。
- ・当面、祈念館に説明する人を置くようにしてほしい。職員が常駐していないので展示物の保護などが心配。
- ・「新しい戦前」という言葉が出てきてしまった現状に対して、この結成集会は重要。ねばり強く活動を展開していく必要性を感じる。



③ 仙台・東京・川崎・大阪などから駆けつけてくれた参加者の紹介

## 平和祈念館を見学して(感想)

- 1月15日「高森自由大学」の22名が見学した時の感想の一部
- ・731部隊の展示品は本当に貴重な品々だと思います。先日放映された番組（NHK特集）の一部に接することができ、事実であろうとされることが、無かったこととして隠される戦争の恐ろしさを目の当たりにすることができました。現世論の動きに大きな不安を感じています。
  - ・731部隊の展示、大変興味深かったです。証言についてもっと詳しく知りたいと思いました。飯田という地は、あらためて近現代の日本史において、極めて重要な地であると思うとともに、平和の尊さをもっと若い世代を中心に広げていく必要を感じました。
  - ・高校生らしき3人が説明の途中から加わってメモをとっておりました。この時節なおのこと、戦争・平和について考える良い機会と強く感じました。殊に若い世代に見に来ていただきたいです。



平和祈念館の731部隊  
実物資料展示場所

## 久保田 昇さん(平和資料収集委員) 熱く語る

### 「飯田市平和祈念館を考える会」学習会

テーマ「胡桃澤正邦さんとの出会い・平和祈念館」  
(旧731部隊員)

日時 2023年3月12日(日) 午後1:30~3:30

会場 鼎文化センター 3階・学習展示室(入場無料)

詳しくはチラシをご覧ください。